

令和 2 年度 事業 報告

豊川市国際交流協会は、平成 2 年 4 月 1 日の設立以来、市民による幅広い国際交流活動を推進することにより、関係各国の相互理解と友好親善を図ってまいりました。

平成 2 4 年 4 月からは、公益財団法人として各種国際交流事業を展開し、令和 2 年には、財団設立 3 0 年を迎えることができました。

令和 2 年は、年度当初から新型コロナウイルス感染拡大による、国の緊急事態宣言発出により、日本語教室、各語学講座及び「おいでん祭」など、予定された各イベントは中止せざるを得ませんでした。しかしながら、9 月から 1 1 月にかけては、感染状況が少し落ち着きをみせたため、その間に予定されていたイベントは、ウイルス感染防止に十分留意して実施することができました。

その中でも、財団設立 3 0 周年記念誌発行、記念事業として企画した国際理解講座及び記念式典（イメージキャラクター選定・発表）・ワールドフェスティバル（ホームページやフェイスブックで動画配信）を開催できましたことは、誠に幸運でした。

しかし、1 月以降は国の緊急事態宣言が再発出され、日本語教室、語学講座も開催途中で中断せざるを得ず、予定されていた各イベントも中止となりました。

現在、外国との人的交流は中断されており、また国内での集会・イベントなどは、3 密回避などの対策が継続されています。コロナ後を想定した協会の運営が求められていますが、外国との人的交流が困難な状況が続きましても、豊川市に外国籍の市民は在住し、外国との関係が無くなることはありません。

今後も、ボランティアの方々や関係団体及び地元企業と連携し、公益性を活かしながら時代に即した事業を計画実施します。そして、外国人を含めた市民が安全な環境の中で安心して暮らせるような、より広い視点から国際交流活動を推進したいと思えます。

公益目的事業 1

諸外国との相互理解と友好親善を深めるための国際交流と国際協力に関する事業

(1) 交流会

コロナ禍で人的交流が困難な中、ホームページやフェイスブックを利用し、地域の人々と外国人との交流を意識し、相互理解と親善を深めるよう努めました。

① ワールドフェスティバル 2 0 2 0

従来の勤労福祉会館での開催は、コロナ禍で中止としました。その代わりにホームページやフェイスブックで、協会の歩み紹介映像、トニー・ハリーの演奏と 3 0 周年おめでとうメッセージ、ラテンアメリカ部会のパチャママの演奏やアトリエの踊り、市内のグローバル企業及びグルメ紹介等の動画を配信し、協会の活動の様子や国際理解を深めました。

(2) ジュニアフレンドシップ事業

コロナ禍で実施できませんでした。

(3) 外国人支援事業

開発途上国へ中古衣料などを送る支援のために、支援物資の呼びかけをホームページや機関紙で行い、ズボン、シャツ、セーターなど段ボール7箱分の衣料品が集まりました。

公益目的事業2

地域の国際化を推進するための人材の育成と市民活動支援に関する事業

(1) ボランティア登録・育成・活動の紹介

地域の国際化や外国人支援に関心のある市民を対象に、ボランティアとして募集、登録、育成するとともに、協会で行っているボランティア活動の紹介を行いました。

また、地域の国際化を推進するための人材の育成や多文化共生における市民活動の活性化に向けて支援しました。

① 日本語学習支援、イベント支援等のボランティアの募集・登録
機関誌「We」やホームページに掲載して、募集、登録を促しました。

② 情報交換・意見交換会（運営委員会）の開催
協会の事業実施状況、ボランティアグループの活動状況の紹介、情報交換やボランティア活動における課題について話し合う意見交換会を毎月1回、各部会の代表者からなる運営委員会を開催しました。

開催回数 12回

③ 日本語ボランティア養成講座の開催

ア 「日本語ボランティア『はじめての一步』」、ボランティアで日本語を教えてみたい人のために、日本語ボランティアを始める前に知っておきたいことを、また、現在ボランティアで教えている人にも、今まで自分が教えてきたことへの振り返りになるような内容でした。

日 時 令和2年10月25日（土）午後1時30分～3時40分
場 所 とよかわボランティア・市民活動センタープリオ視聴覚室
講 師 土井佳彦氏（特定非営利活動法人多文化共生リソースセンター）

東海代表理事)

受講者 22人

イ 日本語教室見学会

日時 令和2年11月7日(土) 午後7時30分～8時30分

場所 市勤労福祉会館 日本語教室実施教室

参加者 11人

④ 日本語ボランティアスキルアップ研修の開催

ア 「生活者としての外国人」により良い対応の日本語学習支援方法

対話型日本語学習に欠かせない、コミュニケーションスキル

「やさしい日本語」と「聴く・待つ」をテキスト『わたしを伝える日本語』を使って学びました。

日時 令和3年3月14日(日) 午後1時30分～4時30分

場所 市勤労福祉会館 視聴覚室

講師 萬浪絵理氏(千葉市国際交流協会委嘱 日本語教育コーディネーター)

受講者 26人

⑤ 市民まつり「おいでん祭」への参加

コロナ禍で中止となりました。

⑥ 「防災ってお互いさま！～災害時通訳ボランティア及び防災ボランティア
コーディネーター スキルアップ研修～」

コロナ禍で中止となりました。

(2) 国際理解講座の開催

人権、環境、平和、防災など地球規模の課題への理解を深め、解決に向けた実践的な行動を起こすことができる市民の育成を狙いとした講座や講演会などを行うことにより、市民の国際理解を深める取り組みを推進しました。

① 多文化共生課外授業

コロナ禍で中止となりました。

② 文化講座の開催

「どんな国シリーズ」として、それぞれの国の歴史、風俗、習慣などについて紹介していただき、国際的な知識と視野を広めました。

ア 「マカオってどんなところ」

日時 令和2年9月26日(日) 午後2時～4時

場 所 市勤労福祉会館 大研修ホール
講 師 岩崎 瞳氏
参加者 39人
内 容 母親がマカオ出身で、マカオにゆかりのある講師によるお話で、ハキハキとした詳しい説明で、時々笑いも起こり充実した講演でした。飲食禁止のため、ブレイクタイムの飲食は取りやめ、おやつ「エッグ・タルト」はお土産として持ち帰っていただきました。

③ 国際理解講演会

ア 「コロナ時代の日本と中国」ー歴史から考えるー

日 時 令和2年10月17日(土) 午後2時～4時

場 所 豊川市文化会館 中ホール

講 師 川村 範行氏(名古屋外国語大学特任教授・元中日新聞上海支局長)

参加者 68人

内 容 2千年に亘る日中往来の歴史と近年の両国の動きに照らして、コロナ禍の現状を検証し、今後の日中関係のあり方を探る。結論として、日中民間交流・草の根交流による平和友好協力が、今後の両国関係にとっての重要なカギを握るとの提言であった。

イ 「僕が日本を選んだ理由」ーそれはたった5つの日本語から
はじまったー

日 時 令和2年11月1日(日) 午後3時15分～4時15分

場 所 豊川市音羽文化ホール

講 師 クリス・グレン氏(ラジオDJ)

参加者 45人

内 容 なぜ日本に興味を持ったのか、オーストラリアで学んだ日本のこと、来日のきっかけ(交換留学)、交換留学生としての札幌での生活(楽しかったこと、苦勞したこと)、日本の魅力、日本のために(日本への恩返しとして、国内外に日本の魅力伝えたい。)をDJの軽妙な話ぶりで、「日本愛」をもってお話していただきました。

(3) 姉妹都市等の交流

コロナ禍で実施できませんでした。

(4) 外国語講座

語学学習や外国人との会話を通して外国文化に触れ、国際的感覚を養いました。

英会話5講座、中国語2講座及びスペイン語1講座を実施しました。

① 英会話講座

- ア メアリー先生とノリノリ英会話1（初級）
令和2年9月8日～令和2年12月8日（受講者7人）
- イ みんなのための英会話2（初級）
令和2年9月8日～令和2年12月8日（受講者21人）
- ウ メアリー先生とノリノリ英会話2（初級）
令和2年12月15日～令和3年3月23日（受講者7人）
- エ 自分の意見を英語で言ってみよう（初中級）
令和2年12月15日～令和3年3月23日（受講者25人）
- オ 世界のトピックを英語で話してみよう！（中級）
令和2年12月15日～令和3年3月23日（受講者10人）

② 中国語講座

- ア マンガで学ぶ日常中国語1（初中級）
令和2年9月10日～令和2年12月3日（受講者13人）
- イ マンガで学ぶ日常中国語2（初中級）
令和2年12月17日～令和3年3月25日（受講者13人）

③ スペイン語講座

- ア 楽しいスペイン語講座（初中級）
令和2年12月9日～令和3年3月10日（受講者9人）

公益目的事業3

外国人と共に暮らす多文化共生社会の実現に向けた事業

(1) 日本語学習支援事業

外国人住民が日本人と円滑なコミュニケーションをとり、安心して日常生活を送ることができるよう支援するために、日本語教室を開催しました。日本語習得の機会を提供することで、多文化共生社会づくりを推進しました。

① 日本語教室の開催

・夜クラス

コロナ禍で、上半期は中止し、下半期には、十分なコロナ対応による対面授業を実施しました。（一部オンライン授業実施。）

なお、下半期にも緊急事態宣言発出のため、一部閉講としました。

日 時 10月～翌年2月の毎週土曜日 午後7時45分～午後9時

場 所 市勤労福祉会館
講 師 協会の日本語教室部会員
受講者 58人(下期48期〈10月~2月〉)
内 容 入門から上級まで、18クラスに編成して、1期(18回)
のみ開講しました。

・ひるまクラス

夜クラスと同様に上半期は中止し、下半期に授業を実施しました。
なお、下半期にも緊急事態宣言発出のため、一部閉講としました。

時 期 10月~翌年3月の火曜日~木曜日午前10時30分~12時
場 所 市勤労福祉会館
講 師 協会の日本語教室部会員
受講者 延べ25人(16期(10月~3月))
内 容 入門から上級まで、小グループ又は個人レッスンで行い、1期
(18回)のみ開講しました。

② 豊川市日本語スピーチコンテスト(第11回)

豊川市に在住する日本語が母語でない小学生以上の男女による日本語スピーチコンテストを開催し、日本での生活を通して考えたことや伝えたいことを発表することにより、国際理解を深めるとともに、市民相互の交流を図りました。

日 時 令和2年10月18日(日) 午後1時30分~4時
場 所 市勤労福祉会館 視聴覚室
出場者 5人(小中学生の部1人、高校生以上一般の部4人)
参加者 24人
なお、出場者全員5人が、東三河日本語スピーチコンテストへ出場しました。

③ 東三河日本語スピーチコンテスト(第11回)

東三河5市の国際交流協会で行っている日本語スピーチコンテストで、豊橋市で開催されました。

日 時 令和3年1月24日(日) 午後1時30分~4時30分
場 所 穂の国とよはし芸術劇場 PLAT アートスペース
出場者 小、中学生の部 11人
高校生以上一般の部 12人(1人欠席)
入場者 約100人

④ ひらがな新聞発行业

発行中止となりました。

(2) ペクラ事業

この地域に在住するラテンアメリカにつながる子どもたちが、母国語や日本語で円滑なコミュニケーションをとれるよう、母国語教室及び日本語教室を開催するとともに、学習支援などを通して、多文化共生社会づくりの促進を図りました。

① 小中学生学習支援クラス

日 時 6月～11月及び3月の第1、2、3土曜日 午後2時～6時
年間20回開講
場 所 主に市社会福祉会館（ウィズ豊川）
講 師 専門講師及び協会ボランティア
登録者 13人
学習者 29人
内 容 母国語、日本語及び学校の教科の学習支援を行いました。

② アトリエ

日 時 6月～11月及び3月の第1、2、3土曜日 午後6時～9時
場 所 主に市社会福祉会館（ウィズ豊川）
講 師 専門講師
参加者 8人（小・中学生）
内 容 ラテンアメリカの子どもたちに母国の文化の伝承や母国についてより深く知ってもらうため、主に民族舞踊を教えています。

(3) 外国人支援講座

日本で生活するための社会制度などを理解するための講座や相談会を行いました。

① 外国人のための税務相談会

日 時 2月21日（日） 午前10時～午後4時
場 所 豊川市勤労福祉会館視聴覚室
協 力 市民税課、東海税理士会豊橋支部
参加者 20人（ブラジル18人、ペルー1人、パラグアイ1人）
内 容 市内在住の外国人の方への確定申告の支援をし、地域の人と共に暮らす多文化共生社会の一助としました。

(4) 外国人多言語相談事業

外国人市民が抱える問題に対し、母国語で相談できるよう住民に関する生活情報等の収集、提供を多言語で行うことにより、外国人市民への生活支援の充実を図ることで、多文化共生社会づくりを推進しました。

- ① ポルトガル語、スペイン語、中国語、英語による生活相談及び情報提供
・相談件数 91件

(5) 翻訳事業

住民、行政機関、各種団体からの翻訳の依頼に対し、必要な翻訳を行い多文化共

生社会づくりに寄与しました。

- ① 個人から行政機関等に提出する公文書、市役所等が外国人向けに提供する行政情報及び公的な文書の翻訳
通年にわたり、スペイン語、中国語、英語の通訳、翻訳などを行いました。

公益目的事業4

地域の国際化を推進するための調査研究及び情報提供に関する事業

(1) 機関誌発行事業

地域の国際化に関する情報を市民や関係団体に情報提供することで、市民レベルでのボランティア活動の推進と地域の国際化を図りました。

① 機関誌「We」の発行

発行回数・部数 年2回（7月・1月）2回で3,000部

(2) 広報とよかわ「インフォルマ」スペイン語・ポルトガル語版翻訳事業

日本語がわからないために情報格差が生じがちな外国人市民に対し、市広報の行政情報の一部を母国語で提供するための翻訳の協力をしました。

① 「インフォルマ」

発行回数・部数 年12回・1,800部 /回

(3) 協会ホームページの運営

広報手段として重要なホームページを管理・運営することにより、生活に必要な情報を速やかに提供するとともに、協会の事業やボランティア活動に参加を促し、地域の国際化の推進を図りました。

① ホームページでの情報提供

本協会の行事予定や活動状況、語学講座や文化講座の諸事業について、より多くの方に情報提供し協会事業への参加を促すための情報発信を行いました。

(4) ざっくばらんに話そう

- ① 設立30周年記念式典で講演したラジオDJクリス・グレン氏（オーストラリア出身）が、市内の高校生6名（外国人1名）と「世界へ羽ばたけ！—今あなたは何を学ぶべきか—」について、公開ディスカッションをしました。

日時 11月1日（日）午後4時15分～午後5時

場所 豊川市音羽文化ホール

参加者 40人

内 容 高校生が今学んでいること、今後何を学んで行くべきかについて、自分の考えを発表し、それについてクリス・グレン氏がコメント・アドバイスをしました。また彼から逆に高校生へ質問したりして、今後の未来に活かせるヒントをいただきました。これらを通して国際感覚を養い、若者の国際人育成に寄与しました。

附属明細書

令和元年度事業報告には、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する附属明細書の「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しません。